

# 事業概要

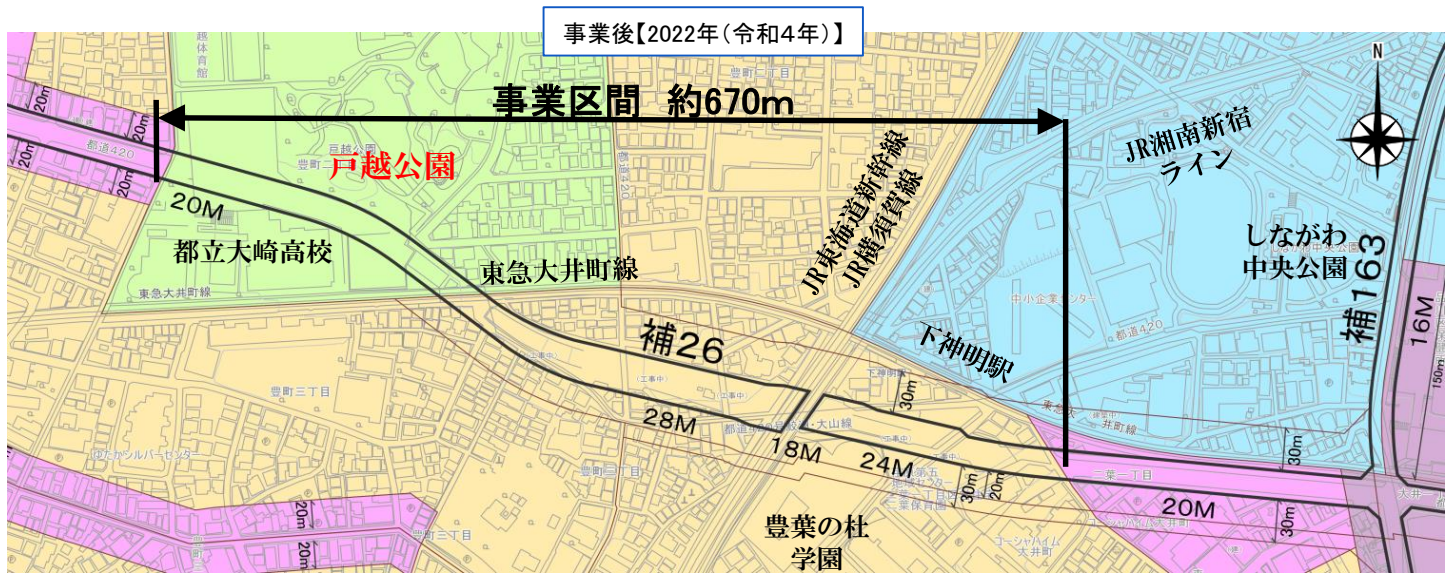
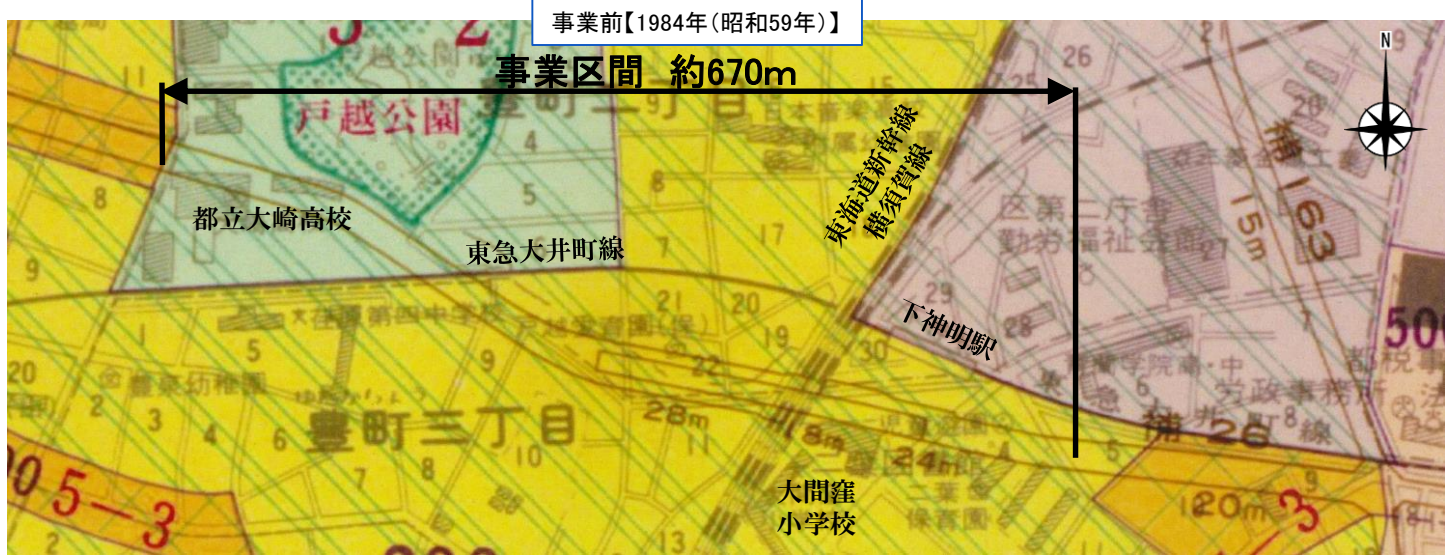
(東京都：(都)補助第26号線)

応募No.	8		
事業主体	東京都	事業箇所	東京都品川区
応募者名	東京都第二建設事務所		
ふりがな 事業名称	とうきょうとしけいかくどうろ ほじょだい26ごうせん(ゆたかちょう) せいびじぎょう 東京都市計画道路補助第26号線(豊町)整備事業		
事業概要 (400字以内)	<p>都市計画道路補助第26号線は、品川区東大井一丁目から板橋区氷川町に至る延長約22.4kmの都市計画道路である。このうち、品川区二葉一丁目から同区豊町二丁目までの約670mの区間については、JR在来線、東海道新幹線及び東急大井町線との鉄道交差部が2箇所あり、都立高校とも交差している。</p> <p>JR在来線との平面交差部にある住吉踏切は、平成19年に国土交通省から開かずの踏切に抽出されるなど、緊急の対策検討が求められていた。また、品川区を東西に結ぶ本路線の開通は、品川区民の長年の念願であった。</p> <p>鉄道や高校との立体交差工事だけでなく、沿道とのアクセス確保も考慮した線形を採用するなど、都内でも類を見ない大規模かつ複雑な施工を行い、令和3年度に交通開放した。</p> <p>本事業により、道路交通の円滑化や、生活道路へ流入する通過交通を本路線に誘導することによる地域の環境改善、安全性や防災性の向上が図られ、地域の経済活動の発展に大きく寄与した。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.7km	
	幅員(m)	20m~28m	
	事業期間(和暦)	平成3年度~令和5年度	
	事業費(億円)	約230億円	
URL	<a href="https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/niken/doro-seibi.html">https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/niken/doro-seibi.html</a>		

# 事業位置図



# 都市計画図(用途地域図)



## 路線全体の進捗状況

### 補助第26号線(全線)

- ・品川区東大井一丁目～板橋区氷川町
- ・延長 約22.4km

《延長約22kmのうち12カ所(約6km)で事業中》

延長:約22kmの事業状況

完成延長約:約11km

概成延長約:約6km(事業中1km)

現道なし :約5km(事業中5km)(※補26豊町)

#### 【補助第26号線(豊町)・事業経緯】

昭和21年 4月 都市計画決定

平成 4年 1月 事業認可取得

平成 9年10月 工事着手

令和 3年10月 交通開放

#### 【路線概要】

本路線は、環状第6号線と環状第7号線の間位置しており、補助線でありながら、広域的な道路ネットワークを形成する重要な路線である。

本区間においては、この区間が開通されることにより、道路交通の円滑化が図られるとともに、住宅地など生活道路に入り込む通過交通を適切に本線に誘導し、地域の環境改善、安全性や防災性の向上が図られる非常に重要な路線である。



補助第26号線全体図  
(令和3年3月末時点)



拡大図

# 平面図(航空写真)

補助第26号線(豊町)航空写真

【1989年(平成元年)】



事業前(現道無し)

【2019年(令和元年)】



事業中(新設道路)

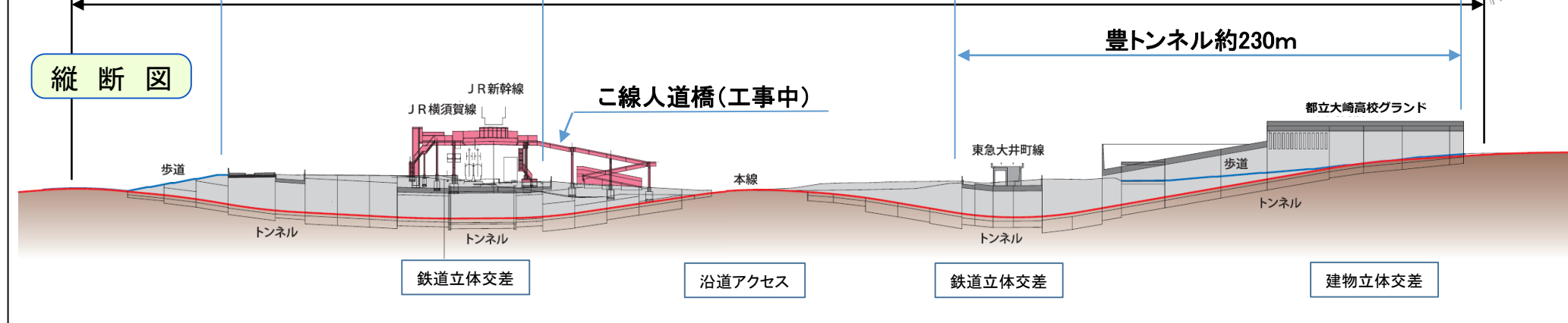
# 平面図・縦断図

[事業区間は現道無し] 現在、こ線人道橋、側道歩道部を工事中

## 平面図



## 縦断図



ふたばトンネル約147m

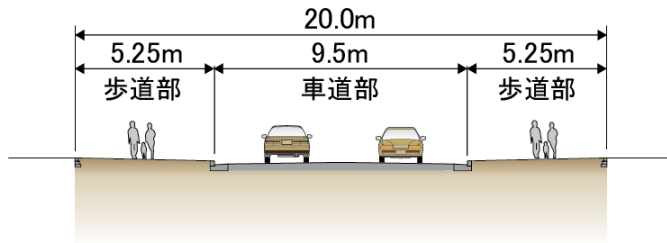
事業区間 約670m

豊トンネル約230m

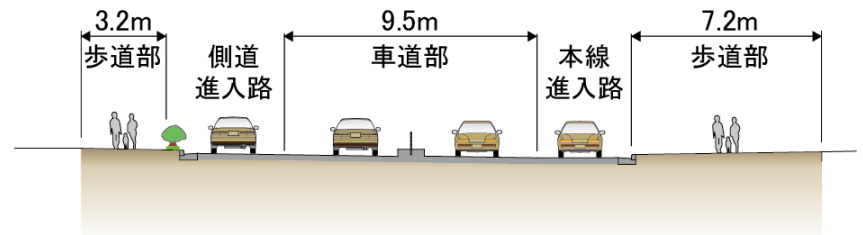
こ線人道橋(工事中)

# 横断図

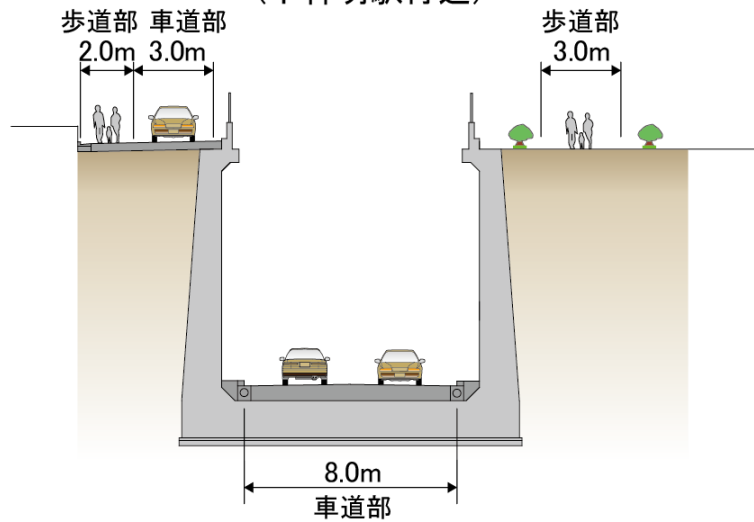
(下神明交差点付近)



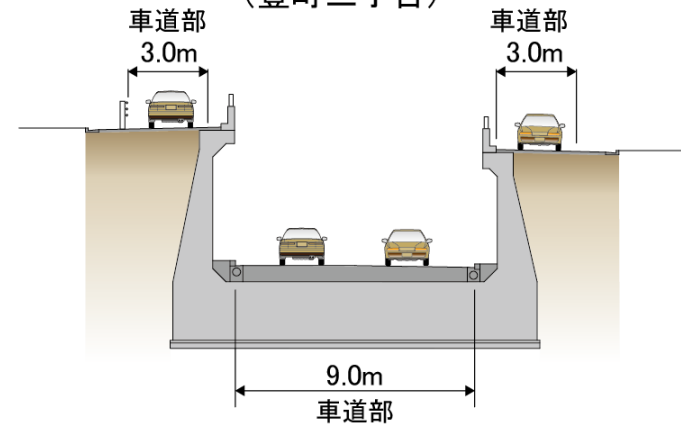
(豊町二丁目交差点付近)



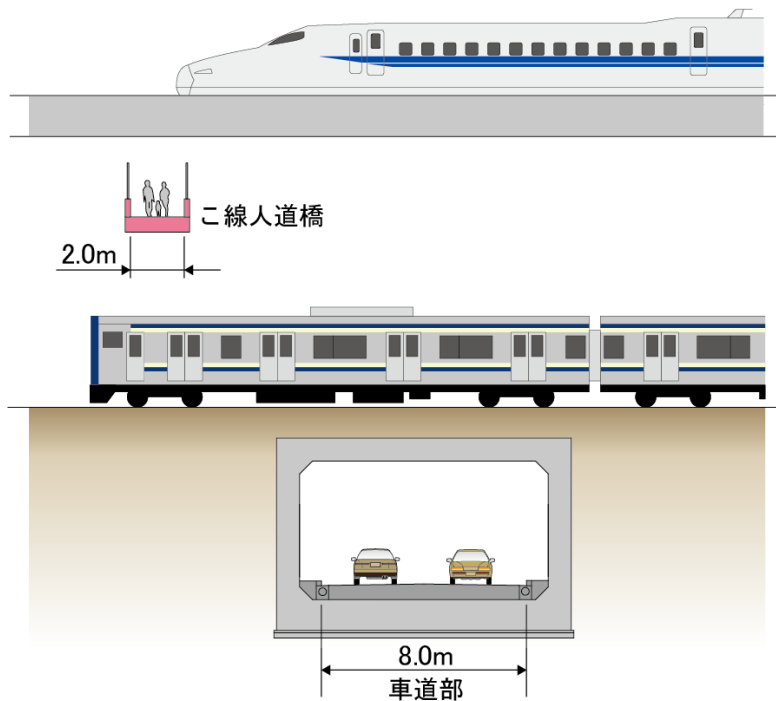
(下神明駅付近)



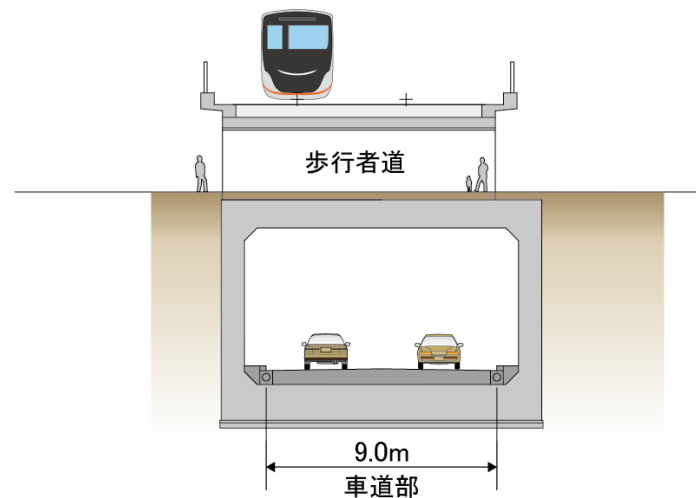
(豊町三丁目)



(JR東海道新幹線・JR横須賀線・JR湘南新宿ライン交差部)

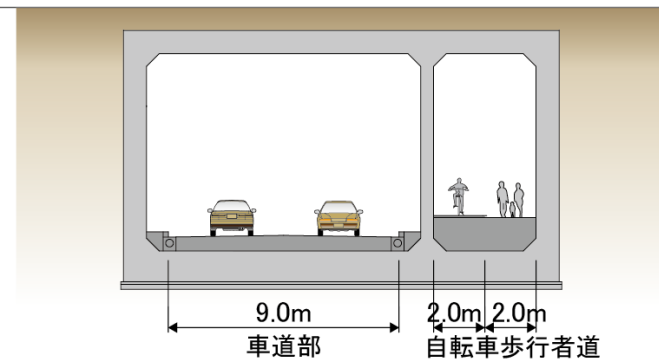


(東急大井町線交差部)

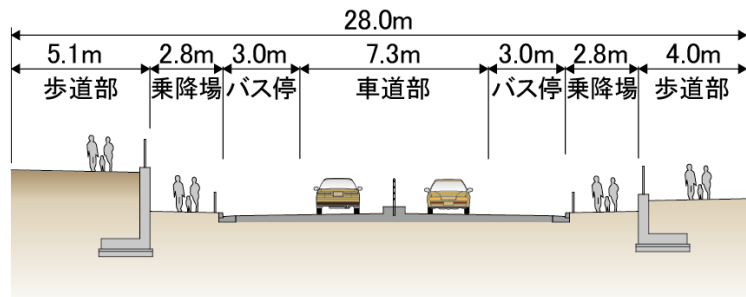


(都立大崎高校交差部)

都立大崎高校グラウンド(人工地盤)



(豊町二丁目交差点付近バス停)





# 事業前写真

# 事業後写真

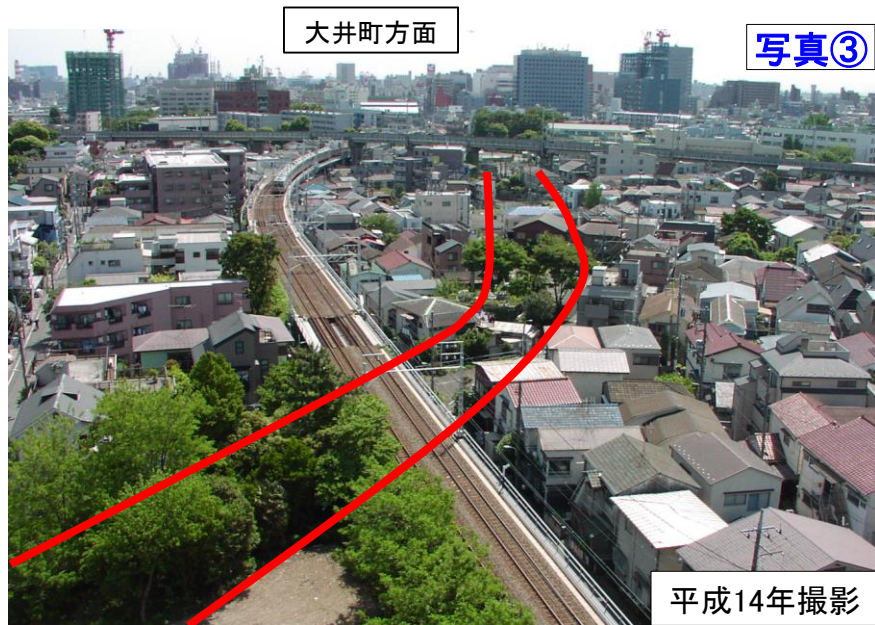
(東京都：(都)補助第26号線)



# 事業前写真

# 事業後写真

(東京都：(都)補助第26号線)



- 本区間の交通開放により、道路ネットワークが形成され、道路交通の円滑化、防災性の向上！  
さらに踏切除却により交通の安全確保が実現された！

○生活道路へ流入する通過交通量が減少！

- ・交通開放区間と並行する戸越小学校前の道路の交通量が約3割減少した。
  - ・四間通り（下村踏切）の交通量が約5割減少した。
- ※交通開放区間では、交通開放約6ヶ月後の時点で約5,000台/12時間通行している。

○東西方向のアクセス性が向上！

- ・平塚橋交差点から八潮橋交差点までの平均所要時間が約5分短縮された。
- ・八潮橋交差点から平塚橋交差点までの平均所要時間が約2分短縮された。

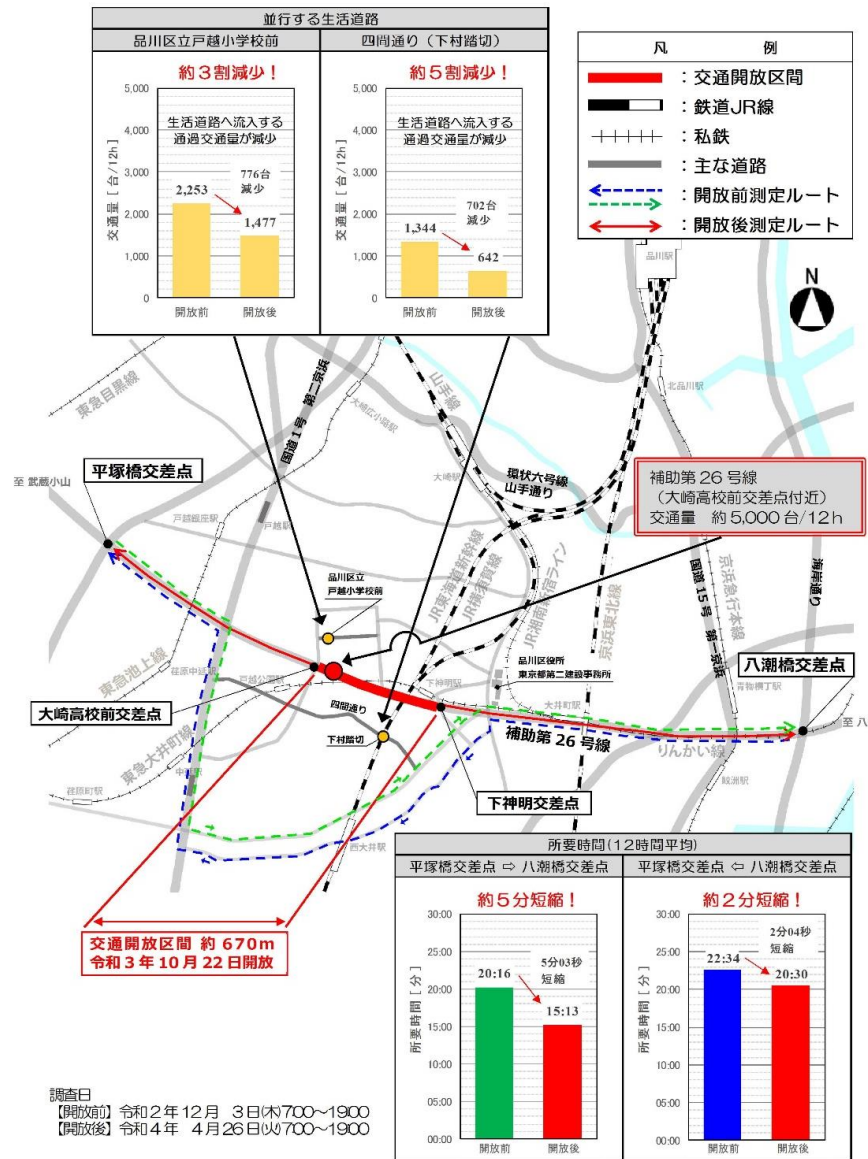
○道路利用者（地域住民や消防署等）が整備効果を実感！

- ・目的地への到着時間の短縮、利便性（大井町～戸越間の交通アクセス等）及び地域の防災性の向上などの効果を実感している。



<人や物の流れを円滑化し、経済活動の活性化に寄与！>

## 1. 補助第26号線(豊町)交通開放約6カ月後の利用状況

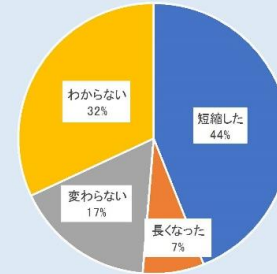


## 2. 道路利用者の声

交通開放区間の沿道の方(約1,000世帯)を対象にアンケート調査を実施しました。

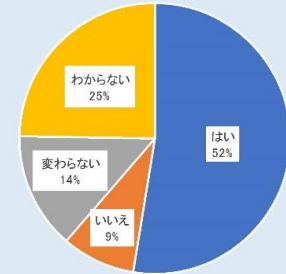
Q 補助第26号線(豊町)の交通開放前後を比較して、同じ目的地への到着時間が短縮したと感じますか?

44%の方が時間短縮を実感



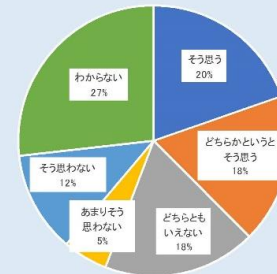
Q 補助第26号線(豊町)の交通開放前後を比較して、利便性(大井町~戸越間の交通アクセス等)が向上したと感じますか?

52%の方が利便性向上を実感



Q 補助第26号線(豊町)の災害時の延滞遮断帯の形成、無電柱化(一部未完成区間あり)の整備による避難路の確保などによって地域の防災性が向上したと思いますか?

38%の方が防災性向上を実感



Q その他の意見 主な内容

- 車での大井町方面の行き来は非常に楽になった。
- 街灯が増えて、夜の帰宅が安心。
- トンネルができたことで利便性が高まり、非常にありがたいが、交通量が増え、交通事故が心配です。
- 早く歩道も整備してほしい。
- 無電柱化も早くすすめてほしい。
- 交通開放区間にバスが走っていないので、是非走らせてほしい。
- 住吉踏切の歩道橋化を進めてほしい。



補助第26号線(豊町)交通開放時の様子  
＜東急大井町線交差点付近から八潮橋交差点方向を望む＞



補助第26号線(豊町)交通開放後の様子  
＜JR線交差点付近から平塚橋交差点方向を望む＞

## 苦労や工夫等アピール資料

### ●JR在来線・新幹線及び東急線との2箇所での立体交差！

- ・ふたばトンネルは、補助第26号線が鉄道（JR横須賀線・湘南新宿ライン及び東海道新幹線）をアンダーパスする構造とした。
- ・トンネル躯体と東海道新幹線高架橋基礎の離隔が数十cmと、過去に例のない近接度であることから、3者で設計・施工委員会を立上げ、設計・施工方法を検討し、決定した。
- ・東京都建設局・JR東海・JR東日本の3者協定を締結し、東京都建設局からJR東日本に工事を委託し施工した。
- ・トンネル躯体の施工は、鉄道の営業に影響しない工法としてHEP&JES工法を採用した。
- ・鉄道交差部のトンネル工事は、営業線に影響ないように変位観測を行いながら、精度の高い工事を実施した。



【ふたばトンネル施工状況】

- ・豊トンネルは、補助第26号線が東急大井町線をアンダーパスする構造とした。
- ・東京都建設局・東急電鉄で協定を締結した。
- ・営業線に影響のある鉄道交差部のトンネル工事は、東京都建設局から東急電鉄に委託し施工した。



【豊トンネル施工状況】

## 苦労や工夫等アピール資料

# ●学校環境機能と道路機能の両立を実現！

- 道路整備工事と高校整備工事を順序立てて実施した
- 道路の権原取得は、学校用地（所有地）の使用協定書による無償使用とした

### 大崎高校との交差部のトンネル施工手順

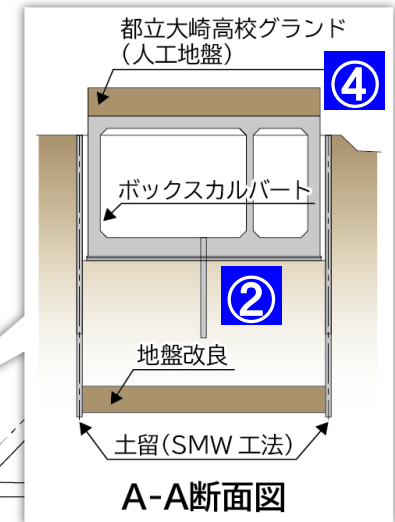
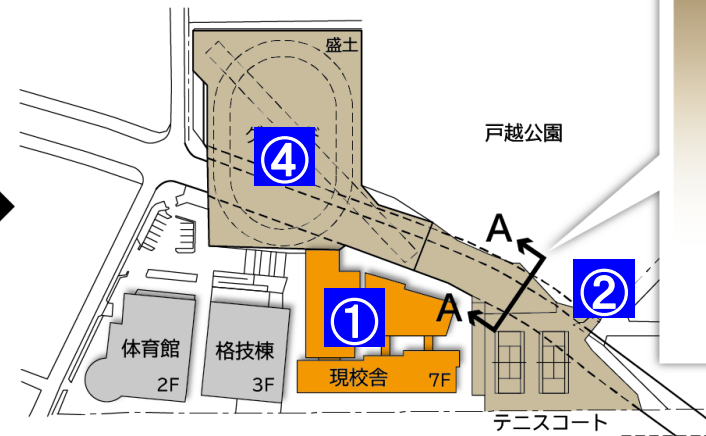
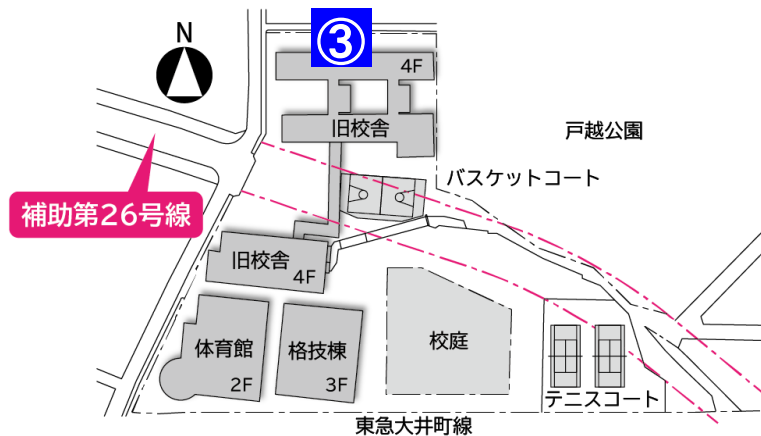
- ① 大崎高校の校舎改築(現校舎)  
※改築後、旧校舎通路・バスケットコート・テニスコートの更地化
- ② トンネル(ボックスカルバート)を開削工法で構築
- ③ 隣接する旧校舎を解体
- ④ トンネル上に人工地盤で高校グラウンドを復旧



【トンネル施工状況②】

都立大崎高校平面図〈整備前〉

〈整備後〉



## ～報道資料～

### 【雑誌】

- ・東京人(令和4年2月号)

### 【紙面】

- ・日刊建設工業新聞(令和3年10月21日)

### 【ネット】

- ・トラベルウォッチ(令和3年10月7日)
- ・乗り物ニュース(令和3年10月9日)
- ・鉄道チャンネル(令和3年10月10日)
- ・品川経済新聞(令和3年10月21日)

**全国雑誌や紙面の他、  
多数ネットにて  
交通開放について掲載される！**